

藤沢市教育委員会 10 月定例会会議録

日 時 2017 年（平成 29 年）10 月 18 日（水）
午後 3 時 30 分
場 所 森谷産業旭ビル 4 階 第 1 会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 教育長報告
 - (1) 平成 29 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果について
- 5 閉 会

出席委員

1 番 平 岩 多恵子
2 番 小 竹 伊津子
3 番 中 林 奈美子
4 番 大 津 邦 彦
5 番 飯 島 広 美

出席事務局職員

教育部長	村 上 孝 行	教育次長	小 林 誠 二
教育部参事	松 原 保	学校施設課長	山 口 秀 俊
学校給食課長	板 垣 朋 彦	教育総務課主幹	佐 藤 繁
学務保健課課長	近 尚 昭		
補佐			
書 記	西 山 勝 弘		

平岩教育長 ただいまから藤沢市教育委員会 10 月定例会を開会いたします。
日程に入る前に、大津委員が 10 月 1 日付で、引き続き教育委員に再任
されましたので、一言、ごあいさつをお願いします。

大津委員 この 10 月にまた教育委員として任命を受けました大津でございます。
日ごろ知的障がい者の施設に勤務しております、この委員会でも福祉の
視点なりが入れられればよいと思っております。どうぞよろしく願いい
たします。

平岩教育長 引き続き、よろしく願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 それでは、会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する
委員は、2 番・小竹委員、3 番・中林委員にお願いしたいと思いますが、
ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

平岩教育長 それでは、本日の会議録に署名する委員は、2 番・小竹委員、3 番・
中林委員にお願いすることといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 続きまして、前回会議録の確認をいたします。

何かありますか。

特にないようですので、このとおりの承することにご異議ありませ
んか。

(「異議なし」の声あり)

平岩教育長 それでは、このとおりの承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 続きまして、教育長報告を行います。

(1) 平成 29 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果について、報告の内
容については、事務局からご説明いたします。

村上教育部長 それでは、平成 29 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果について、報告い
たします。(議案書参照)

9 月市議会定例会は、9 月 1 日から 10 月 6 日までの 36 日間で開催されま
した。

次に、9 月 8 日に開催された子ども文教常任委員会について報告いたしま
す。教育委員会に関係する案件は、報告案件が 3 件ございました。(3)
鵜南小学校等再整備に係る取組状況について、(4) 学校教育相談センタ
ーの一部業務の新庁舎への移転について、(5) 平成 30 年度使用藤沢市教
科用図書の採択結果についてを報告いたしました。

次に、「鵜南小学校等再整備に係る取組状況について」では、1 鵜南小

学校等再整備事業の目的、2 全体計画（予定）、3 現在の取組として（1）基本構想策定にあたって留意すべき事項、（2）基本構想策定業務の進捗状況、（3）保護者、教職員等及び地域への周知・事前説明について、（4）今後のスケジュールについて報告し、委員からは、新校舎建設中の津波避難場所の確保、現場職員からの意見聴取を十分に行うとともに、地域住民のご理解が深まるよう情報提供を行うようにというご意見をいただきました。

続きまして、「学校教育相談センターの一部業務の新庁舎への移転について」では、1 学校教育相談センターの業務、2 移転する業務、3 移転に伴い期待される効果、4 今後の予定について報告をいたしました。

続きまして、「平成 30 年度使用藤沢市教科用図書の採択結果について」では、1 採択に係る経過、2 採択された教科用図書として、（1）小学校用教科用図書については、道徳科は光村図書出版発行の「道徳 きみがいちばん ひかるとき」を、また、道徳科以外の教科については、平成 26 年度採択と同一のものを採択したこと、（2）中学校用教科用図書については、平成 27 年度採択と同一のものを採択したこと、（3）特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書については、15 ページ以降にあるすべての図書を採択したことを報告いたしました。

続きまして、一般質問についてでございますが、9 人の議員から教育委員会に関連する質問がございました。

はじめに、藤沢市公明党の東木 久代 議員の件名 2 「「誰一人取り残さない」温かなふじさわづくりについて」の要旨 1 「包括的・継続的・伴走型支援のしくみづくりについて」では、スクールソーシャルワーカーの体制拡充などについて質問があり、今後スクールソーシャルワーカーの 3 名体制の状況を検証した上で、必要があれば増員を検討していくと答弁いたしました。

次に、要旨 2 「藤沢型子どもの貧困対策」について」では、今後の貧困対策に向けての学校の姿勢について質問があり、教育委員会としては、教員が子どもたちの困り感に気づき、早期に支援が行えるよう、子どもたちとのコミュニケーションを基盤にした信頼関係の構築に努めていくと答弁いたしました。

次に、民主クラブの竹村 雅夫 議員の件名 1 「インクルーシブな藤沢をめざす課題について」の要旨 1 「障害者差別解消法施行後の検証について」では、教職員対応要領の周知についての質問があり、全ての教職員が適切な対応ができるよう、今後も機会を捉えて対応要領の説明や研修等を継続し、障がい理由とする差別の解消について理解や啓発を図っていくこと

を答弁いたしました。

次に、要旨2「外国につながる市民への支援について」では、日本語が苦手な児童生徒に対する初期支援について質問があり、母語で支援ができる日本語指導員をより多くの時間派遣できるよう、日本語指導員の派遣時間を調整すると答弁いたしました。

次に、日本共産党藤沢市議会議員団の山内 幹郎 議員の件名1「教育環境整備について」の、要旨1「マンモス校の解消について」では、本市のマンモス校対策について質問があり、今後、中長期的に児童生徒数の推移を見ながら、学校規模の適正化の検討を進めていくと答弁しました。

次に、要旨2「少人数教育と支援教育について」では、介助員等に関する学校からの要望について質問があり、学校からは派遣時間数の拡大を望む声が上がっており、配当時間数の調整を行うなど、児童生徒の実態に合わせ工夫して行っていることを答弁いたしました。

次に、要旨3「教員の働き方について」では、教員の産育休などの代替教員が見つからない原因について質問があり、産育休を取得する教員が増加しており、早期に対応できるよう代替者の確保に努めていると答弁いたしました。

次に、民主クラブの脇 礼子議員の 件名2「すべての子どもたちが夢と希望を持てる藤沢へ」の 要旨1「子どもの貧困対策について」では、教育応援基金の積極的な周知活動について質問があり、広報媒体の活用や市民センター・公民館等でのパンフレットの配付、また、教育文化貢献者感謝会などの各種イベントにおける募金活動など、様々な機会を捉えて周知を行うほか、寄附を行いやすい環境の整備にも取り組んでいきたいと答弁しました。

次に、市民クラブ藤沢の北橋 節男 議員の 件名1「未来の図書館について」の要旨1「藤沢らしい施設の現状と将来について」では、市民図書館と小中学校との連携等について質問があり、小中学校では図書館資料の団体貸出、児童生徒の市民図書館の施設見学、市民図書館で不用となった蔵書等のリサイクル活用など、多くの学校が市民図書館を利用していることについて答弁しました。

次に、件名2「特別支援学校について」の要旨1「現状と展望について」では、県立特別支援学校や白浜養護学校における教育環境の充実について質問があり、県立藤沢養護学校のバリアフリー化や県立特別支援学校の定員枠の見直し、特別支援学校の新規開設等、を要望していること、また、白浜養護学校の過大規模化に対して、増改築も含め必要な教室の確保等について検討を始めたところであると答弁しました。

次に、藤沢市公明党の阿部 すみえ 議員の件名1、「子どもたちの未来を守るまち・ふじさわについて」の要旨1「小児歯科について」では、歯科教育における歯科校医とのより効果的・効率的な連携について質問があり、学校歯科医が歯科健康診断時等に、歯・口の健康状態やその管理について、直接児童生徒に指導していただくことが効果的・効率的な連携と考えていることを答弁いたしました。

次に、藤沢市公明党の平川 和美 議員の件名1「誰にも優しい藤沢市を目指して」の要旨1「障がい者施策について」では、デイジー教科書等の音声教材の活用について質問があり、学校・保護者に対して、実際に活用した児童生徒に見られた効果や活用方法を情報提供し、児童生徒の実態に合わせて音声教材の使用が図られるように発信していくことを答弁しました。

次に、市民クラブ藤沢の桜井 直人 議員の件名1「学校教育について」の要旨1「部活動について」では、部活動指導者派遣事業における事業の拡充について質問があり、現行の部活動指導者派遣事業を活かしながら、本市の実情に合った部活動指導員制度の構築を目指し、諸課題を整理してまいりたいと考えていることを答弁しました。

最後に、市民クラブ藤沢の原田 伴子 議員の件名1「つながるまちづくり～エリアイノベーション～について」の要旨1「図書館がつなげるまちづくりについて」では、学校図書館の今後の方向性について質問があり、司書教諭と学校図書館専門員と図書ボランティアが協働し、組織的に学校図書館運営を推進できるよう取組を始めたところであること、及び市民図書館との連携を推進し、学校図書館の充実に努めていくことなどを答弁しました。

続きまして、平成28年度藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定について、ご報告いたします。決算特別委員会におきまして、平成28年度における歳入歳出に係る内容を説明した後、質疑、討論を行い、採決の結果、認定され、本会議におきましても討論、採決の結果、認定されました。

次に、決算特別委員会での質疑を踏まえての平成28年度決算に対する各会派からの教育に関する主な意見、要望について報告いたします。

はじめに、日本共産党藤沢市議会議員団でございます。・中学校の新入学に要する就学援助費用の前倒し支給を決断すること。・トイレ・空調設備の整備をできるだけ前倒しで行うこと。

次に、市民クラブ藤沢でございます。・司書教諭が実力を発揮できるような体制づくりと学校図書館専門員への総合市民図書館等のレファレンス支援を推進すること。・スクールガードリーダーの設置については、市

内全域に拡大を行うこと。・小学校の教育用パソコンについては、計画に従って着実に整備を行うこと。・小学校の校務用パソコンについても、教員個人所有パソコンの持ち込みにつながり、セキュリティ上問題があるので、整備を進めること。

次に、市民派クラブでございます。・不祥事案のさらなる徹底解明に取り組むこと。

次に、民主クラブでございます。・学校が教科学習時間以外に使える時間はわずかなので、オリンピック・パラリンピック関連の事業について、学校を通じて児童生徒をイベント等に参加させるのは慎重に行うこと。

・指導主事について、業務の改善や増員を検討すること。・児童支援担当教諭について早期の全校配置を行うこと。・教育応援基金については、わかりやすい制度案内のパンフレットを作成し、多くの方々に協力を得られるようにすること。・必要な医療的ケアの時間数に対応できるよう、学校看護介助員の派遣時間数を増やすこと。

次に、藤沢市公明党でございます。・教員の負担軽減のために、地域にいる、学校や子どもたちを応援したいと思っている方々を活用すること。・福祉的な支援が必要な相談に対応することができるスクールソーシャルワーカーのさらなる増員を行うこと。

次に、無所属クラブでございます。・小学校の校務用パソコンについては、整備率 100%の達成を目指し、改善を進めること。

以上が、平成 29 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果についての報告でございます。

平岩教育長 報告が終わりました。ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、報告を終わります。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 以上で、本日予定いたしました案件はすべて終了いたしました。委員の方で、前回の定例会から本日までの間で、報告事項のある方はいらっしゃいますか。(なし)

それでは、次回の会議の期日を決めたいと思います。11 月 22 日(水)午後 3 時 30 分から、傍聴者の定員は 20 名、場所は森谷産業旭ビル 4 階 第 1 会議室において開催ということでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、次回の定例会は 11 月 22 日(水)午後 3 時 30 分から、傍聴者の定員は 20 名、場所は森谷産業旭ビル 4 階 第 1 会議室において開催いたします。

以上で、本日の審議の日程はすべて終了いたしましたので、閉会といたします。

午後 3 時 46 分 閉会